

“ひの若者会議(仮)”通信



ひの若者会議(仮)とは

次世代を担う若者が、自分たちができること、したいことで、ちょっと日野にいいアイデアを具体的なアクションにつなげていくための集まり。参加メンバーで取り組むテーマごとに「部活」をつくり、プロジェクト化に向け、具体的にできることを考えています。

vol. 8

メンバーでロゴを作成しました。皆さんに親近感を持ってもらい、若者の輪に多くの人を呼び込みたいという思いがこもっています。

「楽器であそぼ 音楽に触れる日」を開催しました

「音楽マーチ部」では、子どもたちの記憶に残るような、音楽や楽器に触れ合える機会として、4・5歳児とその家族を対象に、6月11日(日)、西大路公民館にて、「楽器であそぼ 音楽に触れる日」を開催しました。

このイベントでは、日野ウインドアンサンブルの皆さんに全面協力いただき、生演奏や子どもたちが使う楽器のレクチャー、最後には参加者全員で演奏を披露しました。

会場は子どもたちの生き生きとした姿に包まれ、感動的なひとときとなり、貴重な体験の機会をつくることができました。



一緒に活動する仲間を募集しています

ひの若者会議(仮)の活動に共感する方、活動と一緒に楽しみたい方、誰かと一緒に何かをしたい方、ぜひ一緒に活動しませんか。

興味のある方は下記の問い合わせ先までご連絡ください。



ひの若者会議(仮)
Instagram

◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎ 0748-52-6552

地域おこし協力隊活動記

町では、3名の地域おこし協力隊に着任いただき「関係人口の創出と拡大」移住・定住の促進に取り組んでいます。
今月号では吉海星来さんの活動をご紹介します。



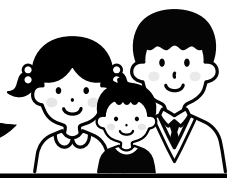
今回は、4月から5月にかけて実施した空き家の活用イベントや、地域のお手強いイベントについてご紹介します。4月29日(土)、石原の旧辰巳屋で「近所で遊ぼう」というイベントを開催しました。関西のアーティストさんの音楽演奏やライブペイント、ワークショップに加えて、みんなが歌えるカラオケブースも設置し、とても好評でした。さらに飲食ブースでは、ランチプレートや焼き菓子、北山茶を使ったドリンクなどを販売しました。近所の方や町内外の皆さんが、かつて空き家だった場所で、音楽やアート、そして食を通して、あたたかく交わった1日となりました。年々空き家が増えている現状ではありますが、今後いろいろな選択肢を提示していきたいです。5月には、日野祭がありました。今まで、私にとって「お祭り」とは、どこか他人事のように外から見ることでしかできず、感動したことがありませんでした。しかし今年、初めての日野祭で、普段交流のある地域の皆さんが、誇りを持ってお祭りに取り組んでいる姿を見て、涙が出るほど感動しました。実は今回、大窪杉野神町の曳山ひきをお手伝いさせていただきました。さらに、参加者を募ったところ、2日間で計26名の方が参加してくれました。お祭りの人手が足りないともよく聞く一方で、こんなにも参加したい人がいるのだと驚きました。今後このような機会を作っていく、発信していきたいと思った2日間でした。

アプリ「まちのコイン」を使って、親子で楽しめる「夏休み自由研究イベント」を開催します!

詳細はこちら↓



◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎ 0748-52-6552



西大路小学校

学校教育目標

学びいっぱい(知) やさしさいっぱい(徳)

元気いっぱい(体)

～みんなの笑顔がいっぱいあふれる学校～

西大路小学校は、明治6年創立、今年で150年を迎える伝統ある学校です。児童数73名と少人数ですが、保護者や地域の方々の温かい支援の中で自分も仲間も一人ひとりを大切に「みんなの笑顔がいっぱいあふれる学校」づくりを進めています。

人を大切に思う心の育成

児童が主体的に取り組む委員会活動の中から生まれた、友達のよさや自分のがんばりをカードに書いて全校で紹介する「キラキラの木」の活動は、小学校にとどまらず、幼稚園にまで広がっています。

また、昨年度から行っている「10分間読書」は、図書委員会を中心としたイベントや「ファミリー読書」の取り組みとしてさらに発展しています。

どちらも、委員会の児童が毎日お昼の放送で紹介してくれています。



主体的に学び合う力の育成

少人数をいかしたきめ細やかな指導と、児童の主体的な学びを伸ばす取り組みを心がけています。

また、地域の方にもご協力をいただき、西大路ならではの学習(茶摘み体験や川の環境調査、田野の歴史学習など)を行い、学んだことを話し合い、まとめあげた内容を、総合的な学習の発表会「わたむき学習フェスタ」で地域の方々に発信しています。



創立150周年を迎えて

今年度、創立150周年を迎えました。実行委員会を中心に、学校、保護者、地域が一体となって盛大に記念式典を挙行することができました。

150周年記念の取り組みを契機として、コミュニティスクールの活動を盛り上げていきたいと思っています。



南比都佐小学校

学校教育目標

学習がすき(知)

友だちがすき(徳)

自分がすき(体) 南比がすき

全校児童91名。保護者の方々や地域の方々に支えられ、子どもたちは友だちとともに毎日の学習や活動を楽しんでいます。読書も大好き!本校の図書室は図書館司書の先生がいつも美しく整えてくださり、さまざまな本との出会いの場となっています。今回は、本校の読書活動についてご紹介します。



出会いたい本10冊

昨年度まで、本校では1人年間80冊を目標にして読書活動を進めてきました。多くの子がこの目標を達成できていることから、今年度は読書量だけでなく読書の質の向上をめざして、図書館司書の先生に各学年で出会いたい本10冊(必読図書)を選んでいただきました。

図書室の入り口にまとめられていて、手に取りやすくなっています。



朝のお話、楽しみだな

火曜日の朝は、隔週で読み語りを行っています。今年度から新たな読書ボランティアさんが2名来てくださり、地域の方に絵本を読んでいただく機会が増えました。子どもたちは「今日はどんなお話だろう」「あ、この絵本見たことあるよ」とお話の世界に引き込まれて食い入るように絵本を見つめます。静かで楽しい朝のスタートです。



音読、暗唱もこつこつと

国語科の学習では、お話を劇にしたり音読発表会を開いたりして学習の成果を全校に披露しています。12月には群読集会をもち、本校が長く続けている暗唱を聞き合ったりもしています。また、家庭学習では、音読だけでなく毎月第3土・日曜日を「家庭読書の日」として、お家の方も一緒に読書を楽しんでくださっています。

